

平成23年11月14日

教育機関長
高 校 長 様
教 職 員
関 係 者

北海道高等学校教育経営研究会
会長 辻 敏 裕
(北海道札幌南高等学校長)

平成23年度北海道高等学校教育経営研究会冬期フォーラムの開催に
ついて(ご案内)

晩秋の候 皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、本会の研究活動に平素から高い関心とご支援を賜っておりますことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、激動の平成23年が過ぎ去ろうとしています。3月11日の東日本大震災とそれに続く東京電力福島第一原子力発電所の事故、そして9月の台風第12号、第15号による災害は、人間のなすすべもない非力さをまざまざと見せつけるとともに、我が国の有り様を変えさせる大きな衝撃を与えました。

レイチェル・カーソンが50年前に著した「沈黙の春」の扉には、E・B・ホワイトの「人間は、かしこすぎるあまり、かえってみずから禍をまねく。自然を相手にするときには、自然をねじふせて自分の言いなりにしようとする」という言葉が引用されています。

こうした人間のおごりを諫め、真に正義を実践する者を育成する教育の推進が、今求められています。3・11を謙虚に受け止めてみると、これからの安心・安全社会を構築していく若者たちには、相手を慮る想像力豊かな人間性、広い視野と的確な批判力、社会の変化への柔軟な対応、客観的な判断力と主体的な行動力等々をしっかりと身につけさせる必要を感じます。本研究会では、こうした観点から、本道におけるポスト3・11の高等学校教育を考察するため、本年夏の研究大会において日大の広田照幸氏を講師に迎え、昨今の我が国における教育改革の功罪について議論を深めてまいりました。この度のフォーラムでは、これまでの考察をさらに深めるとともに、身近な北海道に視座を置いて、新しい教育の在り方について、あらためて展望してみたいと考えています。

つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、貴職の参加並びに学校運営の実務に携わる副校長・教頭や部長主任を始めとした関係教職員並びに指導実習助手職員へのご案内とご派遣について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

添付資料 平成23年度冬期フォーラム開催要項 / 参加申込書 (FAX 送信票)

平成23年度 北海道高等学校教育経営研究会冬期フォーラム開催要項

1 研究主題と研究課題

(1) 研究主題 北海道を元気にする高校教育

(2) 研究課題 北海道の高校教育を展望する

- ポスト3・11の教育を見据えた教育実践の方向性 -

3・11東日本大震災は私どもの世界観を一変させる出来事でした。したがって、本研究会でも教育のポスト3・11を強く意識した取組を進めています。また、現在、高校教育の質の保証が声高に叫ばれています。こうした中、これからの本道高等学校教育の目指すべき方向を探り、具現化の一步を踏み出すことが重要です。

この度のフォーラムでは、前北海道教育委員会委員長の神谷奈保子様に特別講演、道立教育研究所副所長(元北海道登別明日中等教育学校長)の大山節夫氏に基調講演をいただきます。経験豊富なお二人には、広く本道教育を俯瞰する視点から、今後の本道高等学校教育を展望する貴重なお話を伺えるものと期待しています。お二人のご講演を踏まえ、人間教育に視点を置いた実践事例をもとに、今後の本道高等学校教育の方向性を探ってまいります。

2 期 日 平成24年 1月 9日(月)

3 会 場

フォーラム会場

学校法人北海学園
北海商科大学3階 305号教室
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番地
TEL (011)841-1161(代)
地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口直結
駐車場はありませんので公共の交通
機関をご利用ください。

教育懇談会会場

ホテル ライフォ - ト札幌
札幌市中央区南10条西1丁目
TEL (011)521-5211(代)

フォーラム会場から教育懇談会会場までは移動のバスを用意しております。

4 日 程	9:30~10:00	受付
	10:00~10:30	開講式
	10:30~12:00	基調講演
	12:00~13:00	昼食(休憩)
	13:00~14:00	特別講演
	14:10~15:15	提言
	15:30~16:40	意見交換
	16:40~16:50	閉講式

5 講師・提言者・パネラー

- (1) 基調講演 (演題) 「道立中等教育学校の創造
～ 愛あふれる北の大地で夢をもつ人を育む～」
(講師) 北海道立教育研究所副所長 大山 節 夫 氏
(元北海道登別明日中等教育学校長)
- (2) 特別講演 (演題) 「北海道の高校教育への期待と展望
～ 学習する力から学問する力へ」
(講師) 前北海道教育委員会委員長 神 谷 奈保子 氏
- (3) 提 言 「北見柏陽高校における単位制」
北海道北見柏陽高等学校長 後 藤 寿 樹 氏
「学校図書館からはじめる教育改革」
北海道札幌南高等学校長 辻 敏 裕 氏
同校指導実習助手 成 田 康 子 氏
- (4) 意見交換 (テーマ) 『本道高等学校教育の展望』
パネラー 北海道立教育研究所副所長 大 山 節 夫 氏
北海道北見柏陽高等学校長 後 藤 寿 樹 氏
北海道札幌南高等学校長 辻 敏 裕 氏
同校指導実習助手 成 田 康 子 氏
- コーディネーター 藤女子大学教授 太 田 眞 氏
(北海道高等学校教育経営研究会 参与)

6 参加申込

- (1) 申込方法 別紙『FAX 送信票』にて下記宛に送信をお願いします。
問合わせ

北海道札幌東豊高等学校 教頭 山崎 誠 (高経研事務局担当) 〔TEL(011)791-4171 FAX(011)791-9116〕 Mail: mansyutain@hotmail.com
--
- (2) 申込期日 平成23年12月16日(金) 必着といたします。
- (3) 参加料等 当日のフォーラム会場受付で納入をお願いいたします。
参加料 4,000円
参加料には研究紀要代 1,000円が含まれています。
教育懇談会費 5,000円
1 事前に参加申込された方のみ徴収いたします。なお、当日のキャンセルについてはご容赦願います。
2 教育懇談会に参加される方につきましては、誠に勝手ながら職員番号の記載についてご協力をお願いします。
- (4) その他 昼食は会場周辺の飲食店の利用をお願いいたします。

F A X 送 信 票

鑑なしで送信ください。

発信年月日	平成 2 3 年 月 日 ()			
送 信 先	札幌東豊高校内 高経研事務局 山崎 誠 (FAX 番号 0 1 1 - 7 9 1 - 9 1 1 6)			
件 名	平成 2 3 年度高経研冬期フォーラムの参加申込について			
送 信 元	氏 名			
	所 属			
	電話番号			
参 加 区 分	フォーラム及び教育懇談会に参加 (職員番号記載) フォーラムのみ参加 教育懇談会のみ参加 (職員番号記載) 下欄の区分内容には、上記 から のいずれかの該当番号を 記入してください。			
参 加 者 名	所 属 名	職 名	氏 名	区分内容
		職員番号		
		職員番号		
		職員番号		
		職員番号		
		職員番号		
質 問 ・ 意 見 欄				